

整理番号	2024M-	162	補助事業者名	社会福祉法人誠広会	事業項目名	特殊浴槽の整備補助事業
------	--------	-----	--------	-----------	-------	-------------

別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2024	年	8	月	15	日	作成者	馬淵 耕治
-----	------	---	---	---	----	---	-----	-------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	7月設置予定であったが、設置業者の都合もあり、6月末に導入となった。設置翌日より運用を開始している。				
	事業の新規性または継続の必要性				採点
	事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	実施計画・体制	責任者を中心に事業を遂行することができた。設置後は現場担当者を中心に順調に運用できている。			4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
		2024年6月25日	100%	利用者への負担を考慮し、導入予定を7月(夏期)としていたが、実際は前倒しの6月25日に事業完了となった。導入期間についても1日で完了し、利用者への影響も最小限に抑えることができた。	4
	事業の成果・波及	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
		3階 16件 4階 32件	100%	事前計画時点では3階・4階それぞれ1カ月あたり24件を想定していたが、利用者の入れ替わりにより寝位浴槽を必要とする利用者に変動発生。フロア単位の利用件数に変動が生じたがトータル利用件数は計画通りの数字を達成する事ができた。今後も継続して利用していく予定。	4
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
		広報誌・・・8月発送済 HPへの掲載・・・手続き中 ブログ・Xへの投稿・・・完了済	広報誌・・・100% HPへの掲載・・・50% ブログ・Xへの投稿・・・100%	広報誌・・・「川部苑だより号外」として8月に利用者家族へ郵送済。 HPへの掲載・・・HPの作成を外部へ委託しており、掲載までに時間を要する。現在掲載依頼中である。 ブログ・Xでの情報発信・・・ 事前計画については7月を予定していたが、掲載の遅れが生じた。8月13日付にてブログ・Xへの投稿完了。	3
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
		広報誌・・・8月発送済 HPへの掲載・・・手続き中 ブログ・Xへの投稿・・・完了済	広報誌・・・100% HPへの掲載・・・50% ブログ・Xへの投稿・・・100%	広報誌・・・「川部苑だより号外」として8月に利用者家族へ郵送済。 HPへの掲載・・・HPの作成を外部へ委託しており、掲載までに時間を要する。現在掲載依頼中である。 ブログ・Xでの情報発信・・・ 事前計画については7月を予定していたが、掲載の遅れが生じた。8月13日付にてブログ・Xへの投稿完了。	3
(5) 自己評価の体制	スケジュールの都合等により、事前計画とメンバー構成が変更となったが予定通り評価委員会を開催し評価を行った。自己評価結果の掲載については検討中。				3

(b) 総合評価

総合評価点	4
-------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	概ね計画通りのスケジュールで導入完了し、運用することができた。身体的負担軽減による腰痛予防対策という点では、すでに職員からの声により効果が実感できている。今後より介護度の高い利用者が増えた場合、更なる効果が期待できる。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	事前計画の各項目についてもう少しゆとりのあるスケジュールにしておく事により、実施との差異が生じることなく遂行できたと思われる。自己完結できない部分(HPの外部委託)を計画の中で想定しておくべきであった。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	施設の設備を家族や外部の方へ知ってもらうことができ、施設のアピールに繋げることができた。

【福祉機器・医療機器】

整理番号	2024M-	162	補助事業者名	社会福祉法人誠広会	事業項目名	特殊浴槽の整備補助事業
------	--------	-----	--------	-----------	-------	-------------

別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画/自己評価書(5/5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻害」欄に「*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的に記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費		
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者(受益者以外)の要望への対応		
			(12) 災害の発生(地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
		(15) その他			
	*		(16) 特になし		